



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月7日

上場会社名 ジャパンマテリアル株式会社  
 コード番号 6055 URL <https://www.j-materials.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 久男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 竹村 光司  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 059-399-3821

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,367	9.3	7,043	12.1	7,142	13.7	4,852	11.8
2021年3月期第3四半期	25,032	4.6	6,283	25.7	6,282	24.7	4,339	26.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 5,075百万円 (18.1%) 2021年3月期第3四半期 4,297百万円 (27.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	47.28	
2021年3月期第3四半期	42.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	42,013	35,220	83.8
2021年3月期	38,957	31,760	81.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 35,220百万円 2021年3月期 31,760百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		16.00	16.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	7.8	9,200	5.0	9,200	3.4	6,150	0.2	59.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	105,149,520 株	2021年3月期	105,149,520 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,512,874 株	2021年3月期	2,528,574 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	102,622,516 株	2021年3月期3Q	102,620,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により厳しい状況で推移しましたが、ワクチン接種の促進など各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気は持ち直しの動きがみられました。一方で、一部の部材調達に難しい状況が続いていることに加え、新たな変異株が確認されるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界では、テレワークやオンライン教育の拡大ならびにIoTや5G(第5世代移動通信システム)の普及によるデータセンター向け、車載向けなどのニーズ拡大を背景に、半導体需要は増加傾向で推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するインシヤル部門(特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工)は、主要顧客である半導体工場において、前年同四半期と比べDRAM工場での新規設備投資に伴うインシヤル案件の減少による影響があったものの、NAND型フラッシュメモリ工場での設備投資は継続されました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門(特殊ガス販売管理業務、技術サービス等)は、海外向けスポット案件による増加及び半導体工場での生産活動が拡大していることから、特殊ガス販売管理業務、半導体製造装置メンテナンスを中心に堅調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、デジタルサイネージ向け販売を中心に堅調に推移したものの、展示会出展に伴う費用及び東京本部移転に伴う費用が発生したため、セグメント利益は前年同四半期と比べ減少しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所が稼働しております。

また、当社の退職給付債務の計算方法について、従来まで簡便法を適用しておりましたが、対象となる従業員数の増加に伴い原則法に変更しており、退職給付費用として121百万円を特別損失に計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は27,367百万円(前年同四半期比9.3%増)、営業利益は7,043百万円(前年同四半期比12.1%増)、経常利益は7,142百万円(前年同四半期比13.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,852百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。

#### ①エレクトロニクス関連事業

当セグメントにおいては、売上高は26,306百万円(前年同四半期比9.3%増)、セグメント利益は7,717百万円(前年同四半期比14.2%増)となりました。

#### ②グラフィックスソリューション事業

当セグメントにおいては、売上高は909百万円(前年同四半期比12.8%増)、セグメント利益は130百万円(前年同四半期比22.3%減)となりました。

#### ③太陽光発電事業

当セグメントにおいては、売上高は151百万円(前年同四半期比5.6%減)、セグメント利益は67百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,056百万円増加し、42,013百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,212百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が2,771百万円増加、有形固定資産が1,457百万円増加、仕掛品が1,212百万円増加したことによります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ403百万円減少し、6,793百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が635百万円増加したものの、未払法人税等が1,216百万円減少したことによります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,460百万円増加し、35,220百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,852百万円の計上及び配当金の支払1,641百万円により利益剰余金が3,210百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月13日付「2021年3月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の経済活動の更なる減速、主要顧客の設備投資の遅れ、顧客工場における稼働率の大幅な低下などにより、今後の事業活動及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,234,827	8,022,511
受取手形及び売掛金	13,955,821	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	16,727,584
商品及び製品	646,642	921,355
仕掛品	990,988	2,203,448
原材料及び貯蔵品	1,560,345	1,606,803
その他	1,266,866	1,858,606
流動資産合計	28,655,491	31,340,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,807,064	4,913,838
その他（純額）	2,350,692	2,701,566
有形固定資産合計	6,157,757	7,615,405
無形固定資産		
	53,389	47,285
投資その他の資産		
リース債権及びリース投資資産	2,899,837	2,173,587
差入保証金	268,258	101,684
その他	922,486	735,102
投資その他の資産合計	4,090,583	3,010,374
固定資産合計	10,301,729	10,673,065
資産合計	38,957,221	42,013,375
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,452,897	3,088,567
短期借入金	55,409	100,530
未払金	552,159	384,865
未払費用	327,274	405,187
未払法人税等	1,824,577	607,766
賞与引当金	683,447	300,977
その他	282,361	776,084
流動負債合計	6,178,127	5,663,979
固定負債		
リース債務	527,758	457,497
退職給付に係る負債	391,779	580,084
資産除去債務	28,911	26,770
その他	70,486	64,860
固定負債合計	1,018,935	1,129,214
負債合計	7,197,062	6,793,193

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,815	1,317,815
資本剰余金	1,598,482	1,618,109
利益剰余金	29,997,485	33,207,847
自己株式	△1,066,672	△1,060,049
株主資本合計	31,847,110	35,083,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,827	41
為替換算調整勘定	△80,724	139,366
退職給付に係る調整累計額	△3,399	△2,949
その他の包括利益累計額合計	△86,951	136,458
純資産合計	31,760,158	35,220,181
負債純資産合計	38,957,221	42,013,375

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	25,032,329	27,367,182
売上原価	16,766,276	18,169,798
売上総利益	8,266,052	9,197,383
販売費及び一般管理費	1,982,545	2,154,184
営業利益	6,283,507	7,043,198
営業外収益		
受取利息	7,694	4,347
受取配当金	4,698	4,953
為替差益	—	69,075
受取賃貸料	11,249	11,750
助成金収入	29,413	8,066
その他	9,903	8,626
営業外収益合計	62,959	106,820
営業外費用		
支払利息	4,265	4,965
為替差損	55,813	—
不動産賃貸費用	3,060	2,544
その他	517	323
営業外費用合計	63,656	7,832
経常利益	6,282,810	7,142,187
特別利益		
固定資産売却益	482	278
特別利益合計	482	278
特別損失		
固定資産除売却損	4,388	7,325
退職給付費用	—	121,338
特別損失合計	4,388	128,663
税金等調整前四半期純利益	6,278,904	7,013,802
法人税、住民税及び事業税	1,865,155	2,011,924
法人税等調整額	74,554	149,580
法人税等合計	1,939,709	2,161,504
四半期純利益	4,339,194	4,852,297
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,339,194	4,852,297



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,339,194	4,852,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,893	2,869
為替換算調整勘定	△35,351	220,091
退職給付に係る調整額	△191	449
その他の包括利益合計	△41,435	223,410
四半期包括利益	4,297,758	5,075,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,297,758	5,075,708
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

「時価の算定に関する会計基準」等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(追加情報)

退職給付債務及び費用の算定方法の変更

当社の退職給付債務の計算方法について、従来まで簡便法を適用しておりましたが、対象となる従業員数の増加に伴い、第1四半期連結会計期間の期首より原則法に変更しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首における退職給付に係る負債が121,338千円増加し、同額を退職給付費用として特別損失に計上しております。

新型コロナウイルス感染症の影響

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	24,065,718	806,048	160,563	25,032,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	24,065,718	806,048	160,563	25,032,329
セグメント利益	6,760,856	168,515	66,918	6,996,290

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,996,290
全社費用(注)	△717,029
その他	4,246
四半期連結損益計算書の営業利益	6,283,507

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エレクトロニクス 関連事業	グラフィックス ソリューション事業	太陽光発電事業	
売上高				
外部顧客への売上高	26,306,292	909,284	151,605	27,367,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	26,306,292	909,284	151,605	27,367,182
セグメント利益	7,717,988	130,967	67,358	7,916,313

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	7,916,313
全社費用(注)	△876,479
その他	3,364
四半期連結損益計算書の営業利益	7,043,198

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。